

「テルール酸加里ヲ應用セル 結核菌培養基ニ就テ

吳海軍病院

海軍々醫中佐 吉田憲吉

(昭和9年4月19日受附 特別掲載)

本稿ハ昭和7年6月吳海軍病院軍醫科士官研究會ニ於テ報告セルモノナリ。

Kochガ凝固血清ノ培養基上ニ結核菌ノ純培養ニ成功セル以來代ヲ累ネタル結核菌ハ普通ノ結核培地タル「グリセリン寒天」、「グリセリンブイヨン」、馬鈴薯、Hesse培地、Ficker培地ニ良ク發育スルモ分離培養ノ培地トシテ用ヒラル、モノハ Petroff, Dorsett, Besredca, Petraguani, Hohn等ノ培地或ハ其變法ナリ、1930年 Löwensteinガ流血中ノ結核菌ノ培養法ヲ發表シ熊谷教授ハ之ガ改良セル方法ヲ發表セリ。

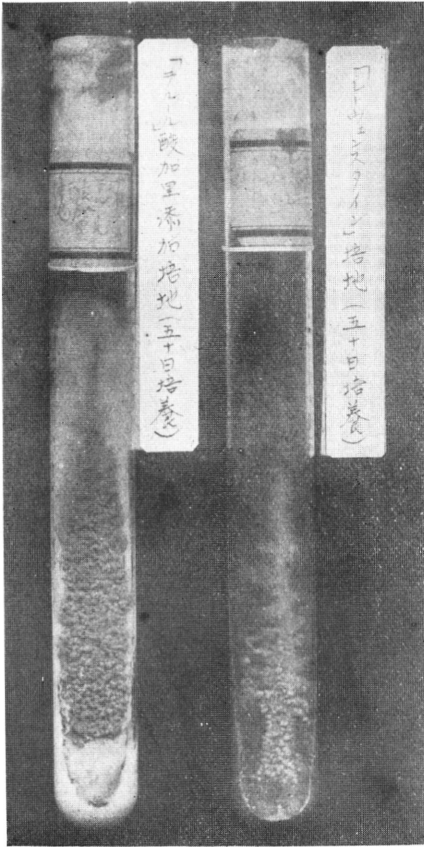
Löwensteinノ培地ニ於テハ其培養基ニ含有セル「コンゴローート」ノ赤色又ハ「マラヒットグリユーン」ノ青色ノ「バツク」ニ淡黄色ノ「コロニー」ヲ出現シ早期微細ノ「コロニー」ニ於テハ結核菌ノ「コロニー」ナリヤ鑑別ニ困難ヲ感ズル事々屢々アリ、故ニ余ハ同培地ノ「コンゴローート」又ハ「マラヒットグリユーン」ノ代用トシテ「テルール酸加里 (Kalium tellulosum)」ヲ以テセリ、元來「テルール酸加里ハ Conradi u. Troch (1912)ノ「デフテリー菌鑑別培養基」ニ添加使用シ初メシモノニシテ「デフテリー菌鑑別培地ニ於テハ「デフテリー菌、葡萄狀球菌、連鎖狀球菌ハ發育良好ナルモ他ノ菌株ハ全ク發育セザルカ、發育不良ナリ。

余ノ「テルール酸加里添加培地ニ於テハ結核菌ハ淡黄色ノ「バツク」ニ黑色ノ「コロニー」ヲ生ジ如何ニ微細ナル「コロニー」ナルモ早期ニ肉眼ニテ發見シ易シ、然シテ菌ノ發育狀況ハ Löwensteinノ培地ト優劣ヲ認メズ、培養基ノ組成ハ概ネ Löwensteinノ培地ニ準據ス、即チ蒸留水ヲ1000cc、酸性磷酸カリウム」4.0、硫酸マグネシウム」0.4、枸橼酸マグネシウム」1.0、「アスパラギン」6.0、中性グリセリン」30.0、新鮮ナル1%「テルール酸加里40.0cc以上ヲ順次溶解A液トス、然シテA液120.0ccニ馬鈴薯粉6.0瓦ヲ混和シ100度ノ重盪煎上ニ2時間放置シ、後50度ニ冷却シ鶏卵4個ヲ能ク攪拌加入シテ濾過濾液ヲ試験管ニ分注セル後血清凝固器ニテ90度1時間3日間間歇滅菌ヲ行フ、次デ37度ノ孵卵器ニ24時間納メ雜菌ノ有無ヲ檢ス、分離培養ヲ行フ場合ハ喀痰ニ於テハ2—3ccヲ採リ10.0%硫酸水約10.0ccヲ加ヘ遠心分離シ、其沈渣2—3白金耳宛ヲ塗抹シ綿栓ヲ「バラフィン」ヲ以テ封ジ37度ニ培養隔日ニ檢ス、10—13日ニテ黑色微細ナル點狀ノ「コロニー」ノ發育セルヲ認ム、然レドモ代ヲ累ネタル結核菌ニ於テハ4—5日ニテ肉眼ニテ見得ル黑色ノ「コロニー」ヲ生ズ、尙流血中ノ結核菌ヲ培養センガ爲メ、本培地並ニ Löwensteinノ培地ヲ以テ結核患者10名ニ就キ Löwenstein

吉田論文附圖

5.

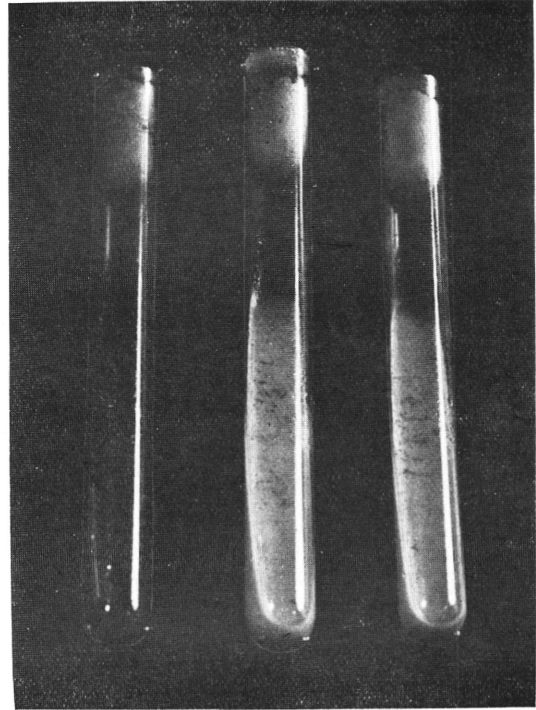
4.



3.

2.

1.



ノ原法及ビ熊谷氏法ニテ處置，培養セルニ何レモ成功セズ。

寫眞説明

1. 2. ハ「テルール酸加里添加培地ノ培養1週間ノ發育狀況
3. ハレーウエンスタン培地ノ培養1週間ニ於ケル發育狀況
4. ハレーウエンスタイン培地培養50日ニ於ケル發育狀況
5. ハ「テルール酸加里添加培地ノ培養50日ニ於ケル發育狀況